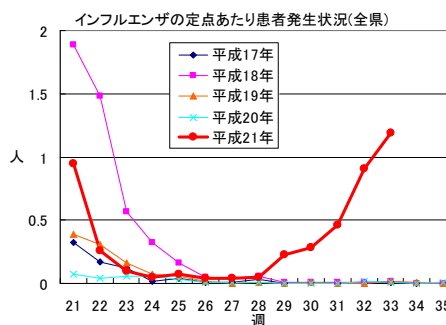
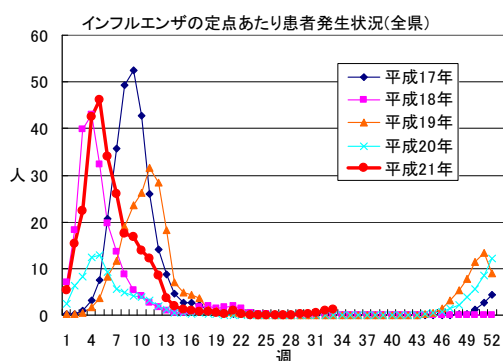


全国の情報は国立感染症研究所感染症情報センターホームページにてご覧ください。 <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

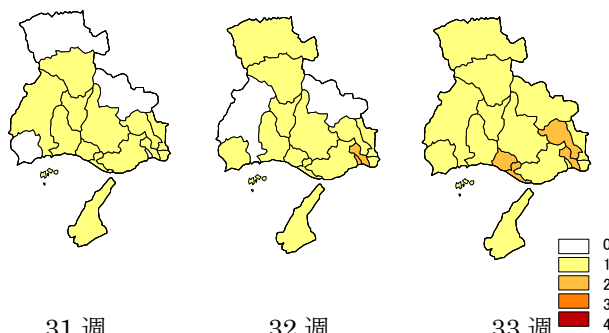
インフルエンザ(新型インフルエンザ)情報

新型インフルエンザ患者の把握は、全数把握から、学校、社会福祉施設等での集団的な発生の把握を中心とする方式に7月24日から全国的に変わりました。これにより、新型インフルエンザのPCR検査は、原則として発生が疑われる集団の一部患者に対してのみ行われることになりました。PCRで陽性となった場合は確定患者として届出され、確定患者が出ている集団のその他の患者は疑似症患者として届出されます。第33週の県内の届出数は、33施設において、確定患者数53名、疑似症患者数57名となっています。詳しくは兵庫県のホームページの新型インフルエンザ記者発表資料をご覧ください。 <http://web.pref.hyogo.jp/contents/000133920.pdf>

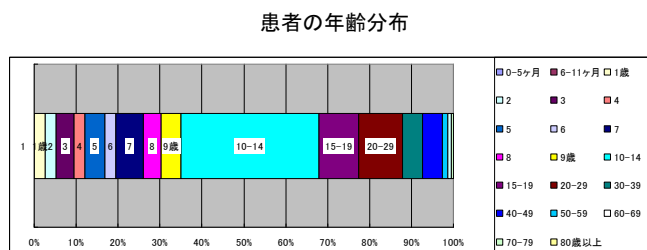
インフルエンザ患者数は県内199か所の医療定点(内科と小児科)からの報告によるものですが、現在はほとんどが新型インフルエンザ患者と考えられています。お盆の医療機関休診の時期と重なっていたこともあってほとんどの疾病で患者数が減少したのに対して、インフルエンザの定点あたり患者数は**1.19人**(先週0.91人)とさらに増加し、**流行開始の目安である定点あたり1.0人を超えました**。患者の年齢分布は10-14歳が33%、15-19歳及び20歳代がいずれも約10%で、10歳代と20歳代で患者全体の半数以上を占めています。都道府県別では沖縄県がインフルエンザ流行の警報レベル(定点あたり患者数30人以上)、大阪府と長野県が注意報レベル(定点あたり患者数10人以上)となっています。



(左のグラフの部分拡大図)



(例年の地域別患者数を基準に流行状況を色分けしています)



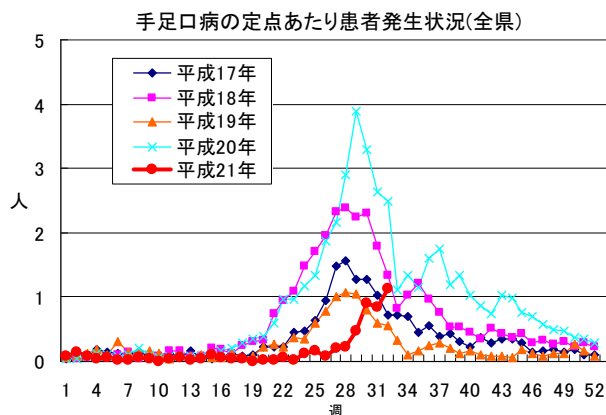
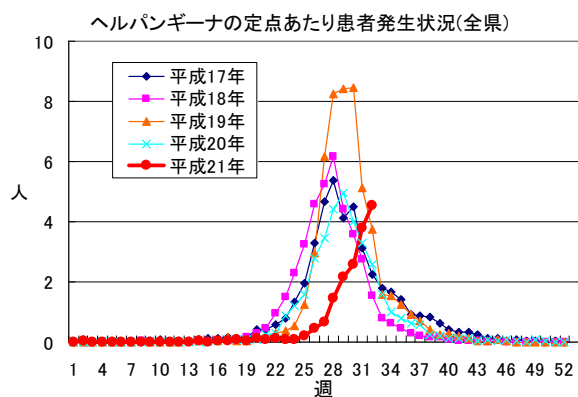
新型インフルエンザに関する情報は次のホームページ(HP)をご覧ください。

- 厚生労働省のHP (<http://www.mhlw.go.jp/>)
- 厚生労働省: 新型インフルエンザ最新情報 (<http://www.mhlw.go.jp/kinkyu/kenkou/influenza/index.html>)
- 国立感染症研究所感染症情報センターのHP (<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>)
- 兵庫県のHP: 新型インフルエンザ対策について (<http://web.pref.hyogo.jp/ac02/influenza.html>)

定点把握感染症（指定された医療機関から報告を求める感染症です）

ヘルパンギーナ と手足口病

夏の代表的な小児感染症にはヘルパンギーナや手足口病などがあります。今週はどちらの疾病の患者数も減少して、ヘルパンギーナが定点あたり **2.58人**（先週 4.52人）、手足口病が定点あたり **0.73人**（先週 1.16人）となりました。



定点あたり患者数の上位10位の疾病

	疾病名	定点あたり患者数		増減		疾病名	定点あたり患者数		増減
		今週	先週				今週	先週	
1位	ヘルパンギーナ	2.58	4.52	-1.94	6位	突発性発しん	0.58	0.75	-0.17
2位	感染性胃腸炎	2.35	3.46	-1.11	7位	水痘	0.37	0.71	-0.34
3位	インフルエンザ	1.19	0.91	+0.28	8位	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	0.24	0.38	-0.14
4位	流行性角結膜炎	0.89	1.20	-0.31	9位	流行性耳下腺炎	0.24	0.40	-0.16
5位	手足口病	0.73	1.16	-0.43	10位	咽頭結膜熱	0.18	0.22	-0.04

全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症です）

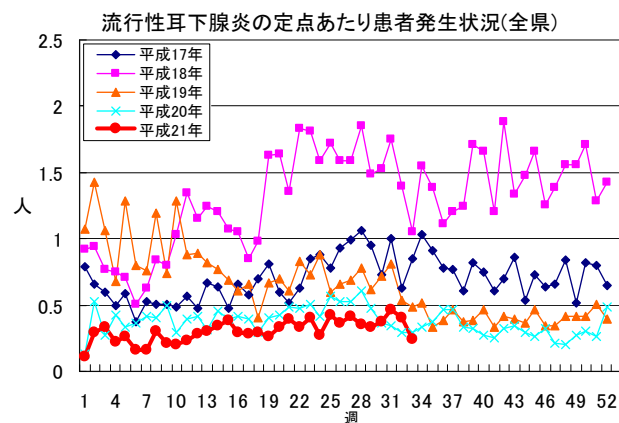
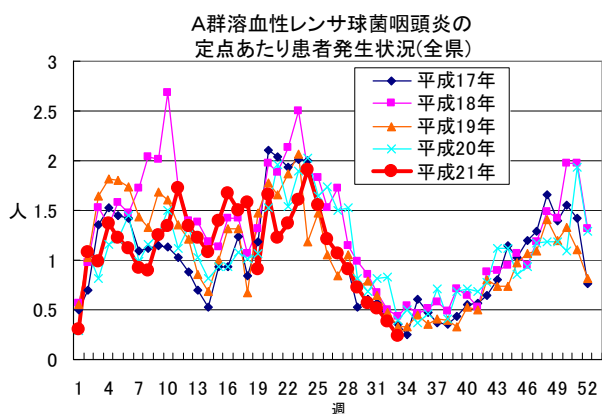
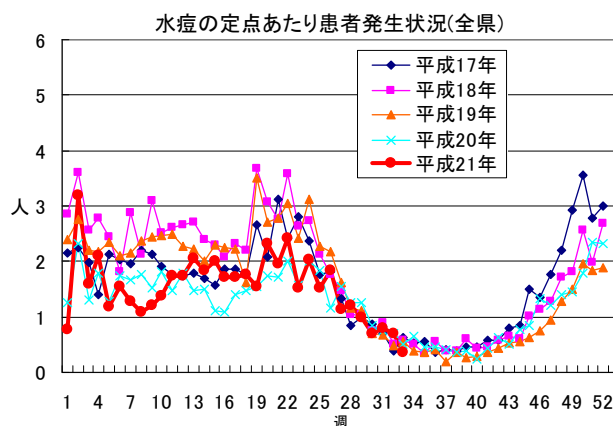
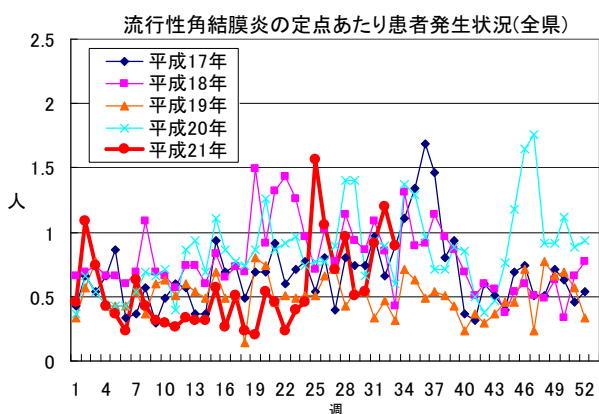
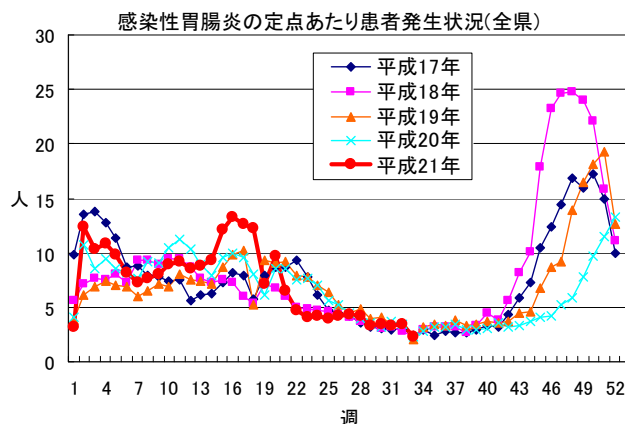
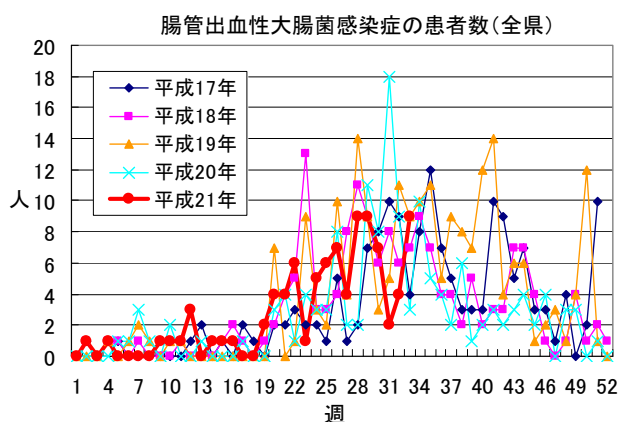
1類感染症	報告はありません。
2類感染症	結核 18名 （尼崎市2名、姫路市4名、西宮市4名、伊丹保健所管内2名、加古川保健所管内3名、龍野保健所管内1名、豊岡保健所管内2名）
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症 9名 （神戸市；0157 VT1+VT2+ 3名、0157 VT2+ 1名、姫路市；0157 VT1+VT2+ 1名、中播磨保健所管内；0157 VT1+VT2+ 1名、洲本保健所管内；026 VT1+ 1名、0103 VT1+ 1名、0157 VT1+ 1名）
4類感染症	報告はありません。
5類感染症	麻疹 1名 （姫路市；1歳、ワクチン接種歴なし）
追加報告	結核 3名 （尼崎市2名、伊丹保健所管内1名）、

検査情報（兵庫県立健康生活科学研究所：健康科学研究センター）

姫路市内の医療機関を受診した**急性咽頭炎患者1名**（3歳）から**アデノウイルス4型**が分離されました。尼崎市内の医療機関を受診した**細気管支炎患者**（0歳）から**アデノウイルス1型**が分離されました。同じく**感染性胃腸炎患者**（0歳）から**ポリオウイルス1型（ワクチン株）**が分離され**アデノウイルス（型別中）**が検出されました。同じく**誤嚥性肺炎患者**（1歳）から**ポリオウイルス3型（ワクチン株）**が分離されました。同じく**発疹患者でけいれん重積のある患者**（0歳）の便と髄液から**コクサッキーウイルスA6型**が、同じ患者の鼻腔ぬぐい液から**ヒトヘルペスウイルス6型**が検出されました。同じく**川崎病でクループ疑いの患者**（2歳）から**コクサッキーウイルスA10型**が、**気管支炎患者**（2歳）及び**肺炎患者2名**（1歳と2歳）から**ライノウイルス**が、**クループ患者**（0歳）から**パラインフルエンザウイルス3型**が

それぞれ検出されました。同じく**突発性発疹患者でウイルス関連性筋炎のある患者**（1歳）の鼻腔ぬぐい液及び便から**ヒトヘルペスウイルス6型**が検出されました。

目で見える動向（県内）



この週報は兵庫県立健康生活科学研究所：健康科学研究センターホームページ <http://www.hyogo-iphes.jp/> にも掲載しています。
また、<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html> から国立感染症研究所感染症情報センターの週報(IDWR)がダウンロードできます。